



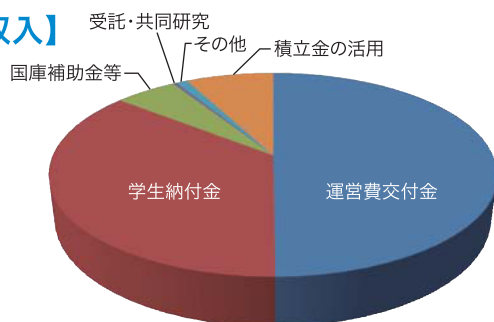
# 平成27年度予算

## 【予算規模】

(単位:千円、%)

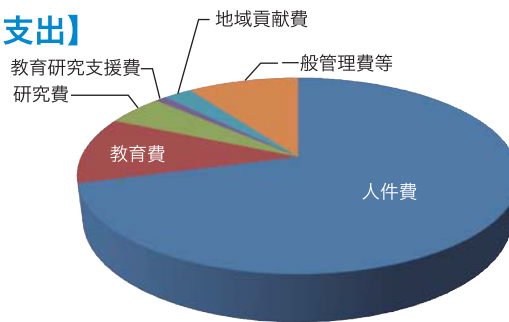
区分	平成27年度A	平成26年度B	増減額C=A-B	増減率D=C/B
予算額	2,244,331	2,211,663	32,668	1.5

### 【収入】



- ◇ 運営費交付金と学生納付金の合計で、収入全体の85.8%を占めています。
- ◇ 教育研究活動を充実させるため、第1期中期計画期間(H18~23年度)の積立金(365百万円)の一部を計画的に活用しています。

### 【支出】



- ◇ 人件費は15億87百万円で、支出総額の70.7%を占めています。
- ◇ 教育経費は、新科目対応のための教育設備・備品の整備や適切な更新、英語学習環境の充実や本学独自の留学奨学金創設、就職率向上に向けた対策の充実等により、前年比27.2%増となっています。

## 【特徴的な取組】

### 教育研究

#### ▶ グローバル化の促進

国際文化学部で平成24年度に採択された文部科学省「グローバル人材育成推進事業(タイプB:特色型)」の取り組みをいよいよ全学へ拡大します。世界の地域と日本の地域をつなげて歴史・文化・自然・人間の価値や可能性に着目し、地域課題解決に取り組む「インターローカル人材」を育成する本プログラムは、新入生から適用される新カリキュラムの一部でも展開し、本学のグローバル化を加速させます。

#### ▶ やまぐちで学ぶ化の促進

社会福祉士・精神保健福祉士・看護師・保健師・管理栄養士の養成に必要な臨地実習(病院や社会福祉施設等で行う学外実習)を県内各地で実施します。実習機関との連携強化により実践的な専門職養成に努めています。さらに、地域で学ぶ「地域学」「地域共生演習」などの展開や、卒業展、クリスマスイベントの実施など実践力を兼ね備えた地域マインド豊かな人材を育成します。

### 地域貢献

#### ▶ やまぐちの地(知)の拠点へ

平成25年度に採択された文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」をはじめとし、少子高齢化が進む山口県における現実的な地域課題に取り組み、地域の元気を生み出す拠点として、県民のQOL(生活の質)の向上に資する地域貢献活動を展開していきます。

#### ▶ オープンカレッジ

学生と共に学ぶ「公開授業」、県内各地で開講する「公開講座」「サテライトカレッジ」、専門職のスキルアップのための「キャリアアップ研修」、様々な“マイスター”を目指す「桜の森アカデミー」など、地域の皆様の学びを応援するプログラムが盛り沢山です。是非、本学 Web サイトで心惹かれるプログラムを探してみてください。

### 学生支援

#### ▶ キャリア・就職支援

入学当初から卒業まで、学年進行に応じたキャリア支援プログラムを授業科目と連動しながら展開しています。新カリキュラムのキャンパスライフ入門では社会人基礎力テストを実施し、卒業までのキャリアデザインに活用するほか、各種講座・ガイダンスの実施、インターンシップの推進、専門分野別キャリアカウンセラーの配置など、学生のキャリア・就職活動をサポートします。

## 【平成27年度のトピックス】

### ○新カリキュラムに対応した英語学習環境の整備

- ・英語の自主学習e-learning教材を無料で学生に提供し、学生の自主的な学習を支援します。
- ・自宅学習のための英語の多読教材を導入し、TOEIC IPスコアの向上を図ります。
- ・英語を履修する1年生のTOEIC IP受験料(年3回分)を無料化します。

### ○教育環境の充実

- ・新カリキュラムの展開に合わせて、法人積立金を活用して機器整備及び適切な更新を行い、学生の教育環境を充実します。
- ・具体的には、暗視野顕微鏡、実体蛍光透過顕微鏡システム、デジタル身長計、オージオメーター、マイクロフィルムリーダー、3Dプリンタなどの整備を図ります。

### ○本学独自の留学奨学金の創設

- ・本学の語学・文化研修、留学制度で留学する学生数の増加に向けて、従来の日本学生支援機構の支援制度に加えて、新たに本学独自の留学奨学金を創設し、グローバル人材育成に努めます。

### ○学外実習(臨地実習)の充実

- ・平成26年度から始めた学外実習のための経費(実習委託金、学生・教員交通費、学生宿泊費)に係る予算措置を拡充し、学外実習の充実を図ります。

### ○資格・採用試験対策講座の受講促進

- ・学内ダブルスクール「公務員採用試験対策講座」「教員採用試験対策講座」「社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験対策講座」を受講料無料で開講し、資格取得・就職率の向上を図ります。